

第17回大館市・比内町・田代町合併協議会会議録

日 時：平成17年 5 月19日（木） 午後 2 時
場 所：田代町総合開発センター 2 階 集会室

会議の次第

- 1．開 会
- 2．委嘱状交付
- 3．会長あいさつ
- 4．議 題
 - （１）報 告
 - 報告第 1 7 号 総務大臣の廃置分合告示について
 - 報告第 1 8 号 平成 1 6 年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算について
 - （２）その他
- 5．閉 会

出席者氏名（敬称略）

会長	小畑元											
副会長	佐藤賢一郎			吉田光明								
委員	伊藤毅			渡辺久憲				荒川邦隆				
	中村弘美			畠沢一郎				吉原正				
	菅原金雄			岩渕吉三郎				佐藤照雄				
	虻川景一			齋藤恵子				中田直行				
	仙台隆義			武田砂代子				小笠原豊				
	高坂清子			佐藤信行				木村充				
監査委員	浅野允			大坂誠一				古家哲				

幹事長	佐藤忠信								
副幹事長	出島雄蔵	田村正己							
幹事	田中良男	渡辺一男					佐藤孝昭		
	本間勲	木村君雄					五十嵐強		

[illegible]

欠席者名（敬称略）

会議経過

午後 2 時00分 開 会

○**司会** 本日は、お忙しいところご出席くださいます、誠にありがとうございます。

それでは、ただいまから第17回大館市・比内町・田代町合併協議会を開会いたします。

はじめに、このたび新たに合併協議会委員となられました北秋田地域振興局長の木村 充様に、会長から委嘱状の交付を行います。

会長が前にまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、委嘱状を交付いたします。

(委嘱状交付)

○**司会** ただいま委嘱状が交付されましたが、改めまして、ご紹介申し上げます。北秋田地域振興局長の木村 充様でございます。

以上をもちまして、委嘱状の交付及び紹介を終わります。

次に、開会にあたりまして、会長であります小畑大館市長からご挨拶を申し上げます。

○**小畑 元会長** 委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。

合併協議会も平成16年 3 月 2 日の第 1 回大館市・田代町合併協議会から 1 年 2 カ月、16回の協議を重ねてまいりました。この間、第 6 回の会議からは比内町の加入もありました。また、合併期日や保育料の調整など、協議に時間をかけた案件も幾つかございましたが、おかげさまで全体としては順調に協議が進みまして、4 月 8 日の総務大臣の廃置分合告示に至ることができました。

このように、合併手続きが順調に推移しまして、6 月20日をもって合併が実現することになりましたことは、委員の皆様のご理解とご尽力のおかげであり、心から御礼を申し上げたいと思います。

本日は、総務大臣の廃置分合告示など報告案件 2 件が議題として予定されております。合併協議会としては最後の会議となりますので、よろしくご協力を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

○**司会** どうもありがとうございました。

続きまして、本日の会議に移りたいと存じますが、会議に先立ちまして、本日の出席委員数をご報告申し上げます。

本日は、委員20名の方が出席しておりますので、協議会規約第11条の規定により、本会議が成立いたしますことをご報告いたします。

会議の前にお願ひでございますが、議事録を公開しております関係で、会議の発言は録音させていただいております。恐れ入りますが、ご発言の際には挙手の上、指名をされましてから、マイクを使用してご発言くださいますようお願い申し上げます。

それでは、協議会規約第11条第 2 項の規定に従い、会長から会議の進行をお願いいたします。

○**議長** それでは、暫時、議長を務めさせていただきます。

会議に入ります前に、会議運営規程第 5 条第 2 項の規定に基づきまして、本会議の会議録署名委員を指名させていただきます。田代町の佐藤照雄委員、大館市の虻川景一委員にお願いしたいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

それでは、会議に入りたいと思います。

会議次第に従いまして、（１）報告を議題といたします。

報告第17号、総務大臣の廃置分合告示についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。はい、事務局。

○事務局 報告第17号、総務大臣の廃置分合告示について、ご説明いたします。

協議会委員の皆様には、既に４月８日付け官報第4070号のコピーを送付しておりましたが、今回、改めてご確認をいただくために、報告第17号として協議会に報告するものであります。

報告第17号、総務大臣の廃置分合告示について。

総務大臣の廃置分合告示について別紙のとおり報告する。

平成17年５月19日提出としてございます。

資料といたしまして、１ページが４月８日付け官報第4070号の写し、２ページが訂正告示となります。４月20日付け官報第4078号の写しを添付してございます。

２ページ目をごらんください。

訂正告示による項番号の第６項が第７項の誤りとなりましたのは、総務省の原稿誤りでありまして、地方自治法の改正において項番号が１つ追加されたことを見落としたことによるものであります。

それでは、１ページの４月８日付け官報第4070号に戻りまして、枠線囲み部分について、２ページの訂正告示の内容を反映した形で読み上げて、ご報告いたします。

総務省告示第418号

市町の廃置分合

地方自治法（昭和22年法律第67号）第７条第１項の規定により、北秋田郡比内町及び同郡田代町を廃し、その区域を大館市に編入する旨、秋田県知事から届出があったので、同条第７項の規定に基づき、告示する。

右の処分は、平成17年６月20日からその効力を生ずるものとする。

平成17年４月８日

総務大臣 麻生太郎

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○議長 ただいまの報告につきまして、何かご質問等ございましたら発言をお願いしたいと思います。どうぞ。

「なし」の声

○議長 ないようでありますので、次に報告第18号、平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。はい、事務局。

○事務局 報告案件としまして、平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算について、ご説明いたします。

報告第18号、平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算について。

平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算について、別紙のとおり報告する、としてございます。

平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算書の１ページをご覧いただきたいと存じます。

最初に、平成16年度の決算の状況でございますが、はじめに歳入でございます。

歳入につきましては、予算現額の歳入合計3,003万9,000円に対しまして、収入済額が3,003万8,427円であり、予算現額と比較しまして573円の減となっております。

次に歳出でございますが、予算現額の歳出合計3,003万9,000円に対しまして、支出済額が2,429万7,152円でございます。

歳入歳出差引残額につきましては、収入済額3,003万8,427円から支出済額2,429万7,152円を差し引きまして、574万1,275円となっております。

それでは、歳入及び歳出の主な内容につきまして、ご説明させていただきたいと存じます。

3 ページ、事項別明細書をご覧くださいと存じます。

最初に歳入でございますが、1 款 1 項 1 目 1 節の1 市 2 町負担金につきましては、2,449万2,000円の収入済となっております。内訳としましては、大館市が1,064万1,222円、比内町が706万4,067円、田代町が678万6,711円となっております。

次に2 款 1 項 1 目の県補助金であります。法定合併協議会支援事業費補助金としまして500万円が収入済となっております。

次に3 款 1 項 1 目の繰越金であります。54万6,314円を前年度から繰り越してございます。

それから4 款 1 項 1 目の諸収入であります。雑入としまして預金利子113円の収入済となっております。

以上あわせまして、歳入合計3,003万8,427円の収入済となっております。

次に歳出でございますが、4 ページをご覧くださいと存じます。

1 款 1 項 1 目 1 節報酬の支出済額121万円でございますが、こちらは第2 回から第16回までの協議会委員報酬と監査委員報酬を支出したものでございます。

次に、9 節旅費の24万3,180円でございますが、協議会委員、監査委員の費用弁償でございます。

次に、11節需用費、食糧費の16万2,285円でございますが、協議会でのお茶代でございます。

次に、12節役務費、通信運搬費の11万3,914円でございますが、協議会資料の送付に係る郵送料でございます。

次に、13節委託料の39万6,900円でございますが、会議録作成委託に係るものでございます。

次に、14節使用料及び賃借料の24万2,465円でございますが、協議会会場の借上料でございます。

続きまして、1 款 1 項 2 目の事務局費であります。4 節共済費の1 万9,426円でございますが、臨時職員の雇用保険料を支出したものでございます。

次に、7 節賃金の185万649円でございますが、臨時職員2 名、12カ月分を支出したものでございます。

次に、9 節旅費の36万1,810円でございますが、県合併支援室で開催している合併連絡協議会会議出席に係る旅費、県内先進合併協議会視察などに係る旅費について支出したものでございます。

次に、11節需用費としまして372万9,494円でございますが、消耗品費としまして、協議会、専門部会、分科会の資料作成に係るコピー代などとして370万5,441円を支出してございます。また、食糧費であります。来客用の茶菓代としまして2 万4,053円を支出してございます。

次に、12節役務費の24万5,883円でございますが、通信運搬費としまして、インターネット使用に係る使用料などで13万3,831円を支出してございます。また、手数料としまして、白布の洗濯手数料、調印式に係る看板作成手数料などで11万2,052円を支出してございます。

次に、14節使用料及び賃借料でございますが、県内先進合併協議会視察時の高速道路使用の料金としまして9,800円を支出してございます。

次に、18節備品購入費でございますが、事務用備品の購入としまして、パソコン等の購入、比内町の加入に伴う職員用事務機などの購入、会長印・事務局長印の作成等で72万1,840円を支出しております。

続きまして、5ページをご覧くださいと存じます。

2款1項1目の事業推進費でございますが、8節報償費、9節旅費につきましては、当初、事業計画におきまして協議会委員、関係市町議員等の研修会の開催を予定しておりましたが、合併協議を最優先させるために月2回の合併協議会を開催するなど研修会を実施する暇がなかったことにより、関連経費であります8節報償費、講師謝礼25万円、9節旅費、講師招聘に係る旅費21万3,000円につきましては、支出がなく、予算額それぞれ、そのまま不用額となっております。

次に、11節需用費としまして530万7,211円でございますが、食糧費としまして、合併調印祝賀会の会食費としまして2万8,929円を支出しております。また、印刷製本費であります、大館・比内・田代全戸に配布している協議会だよりの作成費などとして527万8,282円を支出しております。

次に、13節委託料であります、968万2,295円の支出済となっておりますが、その内訳としましては、新市建設計画策定に係る委託料としまして516万5,721円を支出しております。それから事務事業の一元化に係る委託料としまして86万1,000円を、例規統合に係る委託料としまして125万9,212円を、それからホームページの作成に係る委託料としまして108万8,692円を支出しております。そのほか各市町で開催しました住民説明会用のパンフレットの作成経費としまして98万700円を、合併申請用図面作成に係る委託料として32万6,970円を、それぞれ支出しております。

次に、14節使用料及び賃借料でございますが、研修会会場の借上料として予算計上していたものがありますが、先ほどご説明しましたとおり、研修会を実施しなかったことにより支出がございませんので、予算額12万円がそのまま不用額となっております。

次に、3款1項1目の予備費でございますが、60万円を予算計上しておりましたが、予備費充用等がございませんでしたので、予算額がそのまま不用額となっております。

以上あわせまして、歳出合計2,429万7,152円の支出済となっております。

以上が、平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会歳入歳出決算についての内容でございます。よろしくお願い申し上げます。

○**議長** この件につきましては、協議会規約第18条第1項の規定によりまして、監査委員による監査が行われております。本日、監査委員3名の方にご出席いただいておりますので、代表して浅野監査委員から監査結果について報告をお願いしたいと思います。

○**浅野 允監査委員** それでは、平成16年度大館市・比内町・田代町合併協議会の会計決算審査結果について、ご報告します。

平成16年度の会計決算審査は、去る4月22日に大館市役所の2階第1会議室において、事務局職員立ち会いのもと、大坂、古家、浅野、3名の監査委員で行っております。

監査事項は、現金出納簿、預金通帳及び関係書類の証書類と照合、また、預金は金融機関の残高証明との対照等を行いました。

その結果、いずれも適当かつ適正に処理されており、また、計数的にも合致しており、預金は金融機関の残高証明と一致しておりましたので、ここに報告いたします。

平成17年5月19日

大館市・比内町・田代町合併協議会 監査委員 浅野 允

以上でございます。

○**議長** 大変御苦労さまでした。ただいまの事務局の説明と監査委員の報告につきまして、何かご質問等ございましたら発言をお願いいたします。どうぞ。

「なし」の声

○**議長** ないようでしたらば、一応、本日予定されました協議事項はすべて終了いたしました。その他の事項としまして、委員の皆さんから何かご発言ございませんか。

「なし」の声

○**議長** それでは、事務局から何かありますか。はい。

○**事務局** はじめに、合併記念式典についてでございます。

6月20日、午後3時から大館市民文化会館において、合併記念式典を執り行います。時間は1時間程度を見込んでございます。

式典終了後、午後4時20分から、秋北ホテルに会場を移しまして記念祝賀会を開催することとしてございます。

委員の皆様には、先にご案内を差し上げておりますが、ご出席を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

次に、合併協議会の廃止についてでございます。

前回の第16回協議会で報告してございますが、1市2町の3月定例議会におきまして、合併協議会の廃止議案について議決をいただき、大館市長、比内町長、田代町長の協議が整ってございます。

このことにより、合併前日の6月19日に合併協議会の廃止告示を行い、6月19日をもって協議会が廃止となりますことを、改めてご報告申し上げます。

以上でございます。

○**議長** ありがとうございます。これで、本日の協議がすべて終了いたしました。

○**司会** ここで、本日、最後の協議会を終了するにあたりまして、正副会長から一言ご挨拶を賜りたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

最初に、小畑会長からお願いいたします。

○**小畑 元会長** 最後の協議会ということで、委員の皆様にご挨拶を申し上げたいと存じます。

委員の皆様には、1市2町の合併成就に向けまして、協議会での協議のみならず、各般にわたりましてご尽力を賜りまして、心から御礼を申し上げるところであります。

大館市、比内町、田代町は、平成15年7月に任意合併協議会を経て、昨年3月に法定合併協議会に移行してから本日の会議で17回目の開催となりますが、真剣な議論の中で盛りだくさんの協議事項を一度も採決するということなく、皆さんの同意のもとに終了できましたことなど、本協議会における合併手続きは、数多くの合併協議会の中でも極めて順調に推移できたものと自負しております。

これは、お互いに隣町として過ごしてきた経緯や、30年以上も広域市町村圏組合を構成して住民の日常生活に直結する仕事を共同で実施する中で、これまで培われてきました相互の信頼感や親近感、友愛の情が、委員の皆様はもとより多くの方々の心の中にあっただからこそと考えており、これは合併後の一体的なまちづくりにつながるものと考えております。

6月20日の新市誕生まで、残すところ32日となりました。

新大館市民の皆様の期待に応えられるよう、力一杯頑張っている所存であります。比内町、田代町を含めた地域の均衡ある発展を目指していくためには、どうしても佐藤・吉田両町長にはお手伝いをさせていただく必要があります。そうしたことから、両町長には、参与という形で地域繁栄のためのたくさんの業務に携わっていただき、新大館市を支えていただきたいと思います。市議会の6月定例会に関連条例案の議決をお願いしたいと考えておりますので、よろしくご理解を賜りたいと存じます。

いよいよ本合併協議会も合併前日をもって解散となりますが、委員の皆様におかれましては、今後、益々のご活躍とご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、新市におきましてもさらなるご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

○**司会** どうもありがとうございました。

次に、佐藤副会長からお願いいたします。

○**佐藤賢一郎副会長** 今日、このようにして最後の合併協議会の協議をするに至ったということ、大変感慨深く思います。この1年数カ月の間、本当に合併の問題にみんなで取り組んできた。

ただ、さらにいい結果と言いますか、住んでいる人たちにとって悔いのないような、いい方向づけをしたいということで、多くの人たちと協議をしながらここまで来たと思います。

この合併協議会の中では、行政、議会、そして住民の代表という人方全員で新市をどのようにしていくのかというふうな話し合いであったと思います。今の時代は、本当に大変激動、まだまだ続く時代ですので、そういう行政、議会、住民が一体となってまちを築いていくということが大変重要な意味を持つような時代が続くんじゃないかなというふうに思います。そういう点では、この協議会で学んだことは、今後も本当に活かされて、そしていい大館市、いい新市を建設していくという、そういうのにつながっていくだろうと思っています。

比内町は、いろんな紆余曲折を通りましたが、本当にたくさんの議論をしてここまで至ったわけなんです。本当にみんなの喜んでもらえるいい結果に今至ろうとしているということで、私なりに大変満足しております。

ただ、合併に伴って、今までの自分の働きはここで一旦終焉するということになっておりましたので、自分の気持ちの中では、何とか新市に入っても新市のために働ける、そういう機会がほしいと切に願っておりました。今、市長の方から本当に身に余る提案をさせていただいたということで、大変うれしく思っております。まだ、これは市長の提案で、最終決定ではありませんので、私も、今日ここに市議会の皆様おられますので、ぜひとも提案を議会の中で可決していただいて、新しい市の中で本当に働いていける私なりの務めをさせていただけるように、ぜひご協力いただければ大変ありがたいと思っております。

そうすることで、本当に思い出深い、大変すばらしい経験が今に至るまでしてくることができたし、この合併協議会の経験が本当に今後の新市の繁栄につながる大きな基礎になり、また、土台になるということで、私たちともにすばらしい経験をしてここに至ることができたというふうに思っております。これからも皆さんと一緒に新市繁栄のために頑張っていきたいと思っております。

本当にいろいろとありがとうございました。

○**司会** どうもありがとうございました。

続きまして、吉田副会長からお願いいたします。

○**吉田光明副会長** それでは、私の方からも一言お礼を申し上げたいというふうに思います。

本当に数多くの難題と申しますか、難しい課題があったわけでございますけれども、4月8日の総務省告示にありましたように私ども合併が認められたと大変うれしく思っております。そういう難しい問題の中においても、調整に本当に時間をかけた協議会だったなというふうに私は今思っております。いろんな意見の飛び交う場面もありましたけれども、最終的には長い調整期間を経て、すべての問題につきまして合意を得ることができたというふうに思っているわけございまして、こういう姿を築いていただきました小畑会長には大変難儀をかけたなというふうに思います。

少しおかしな話になりますけれども、隣りに座って見ても足がトントントントと細かく刻むのも見させてもらいましたし、大分我慢してもらったなという気がいたします。それでも、先ほど申し上げましたように時間をかけ調整し、合意に至ったという、すばらしい協議会であったというふうに思っております。こういう話し合いを重ねていけば、必ずや新大館市、立派な市になっていくし、これから発展するというふうに考えておりますので、どうか今後とも委員の皆様方には絶大なるご支援を賜りたいというふうに思っております。

そして、比内の佐藤町長さんからもお話しありましたけれども、市長から参与に迎えるという提案を議会の方に示したという話をいただきました。大変ありがたいことでございます。新市を立ち上げる、そういうときに多分非常勤になるかと思っておりますけれども、そういう形でも新市立ち上げに参加ができるということ、大変光栄に思っておりますし、身に余る配慮をいただいたというふうに思っております。そういう姿勢を示していただけただけでも涙が出るぐらいうれしいわけで、私も力の限り、新大館市を立ち上げていく段階で、そしてまた発展の段階で私ども協力をしてまいりたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

最後になりますけれども、委員の皆様方、もとより大館市、比内町、田代町、すべての住民の方々に心から感謝を申し上げながら、ご挨拶にかえさせていただきます。

本当にありがとうございました。

○司会 どうもありがとうございました。

以上をもちまして、第17回大館市・比内町・田代町合併協議会を閉会いたします。

誠にありがとうございました。

午後2時30分 閉 会

大館市・比内町・田代町合併協議会会議運営規程第5条第2項の規定に基づき署名する。

平成 年 月 日

会長（議長）

委 員

委 員

